

H113		財政学	
英名科目名	Finance		
大学名	京都橘大学		
連絡先	学務第1課 TEL : 075-574-4324 FAX : 075-574-4134		
担当教員	金武 創 (経済部経済学科教授)		
開講期間	2021年04月12日(月)～2021年07月26日(月) 1講時 09時00分～10時40分(毎週月曜日)		
開講形態	前期・春学期	開講曜日・講時	月曜日 1講時
単位数	2	履修年次	2回生以上
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員			
単位互換生定員	10	京カレッジ生定員	0
試験・評価方法	授業中課題(40%)、試験(60%) 日常点評価1 (出席して授業中課題をこなす)+日 常点評価2 (授業中課題に準ずる反転学習:オン ラインによる予習が基本だが復習もあり)+試験(中 間試験+期末試験)で評価します。		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料			
別途負担費用			
その他特記事項	<p>【教室情報】 決定次第、「お知らせ」へ掲示します。不明な点 があれば連絡先まで問い合わせてください。</p> <p>【準備学習】 授業までに教科書の該当箇所を読んで予習をして おいてください。 日経新聞等で関連する時事問題をチェックしてく ださい。</p> <p>【履修上の注意点】 教科書を持参していることを前提に授業を進めま す。持参しなくて課題ができない場合は本人責任 です。</p>		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
<p>【テーマ】 財政の制度と理論を理解する</p> <p>【授業の到達目標】 財政学の基本的な概念と考え方を学び、中央および地方の政府の活 動を経済的な側面から理解できるようになる。</p> <p>【授業の概要】 財政は国・地方公共団体がその目的を達成するために行う経済活動 であり、そこでは民間の経済活動とはさまざまな側面で異なる原理 がはたらいっている。この授業では、まず、民主主義社会における財 政のコントロールのあり方について学んだ上で、歳出と歳入の両面 、すなわち経費、および租税と公債について学習する。また、公債 とかかわって財政と金融との関連についても触れる。最後に、この 授業で学んだ概念や考え方を応用してこれからの日本財政はどうあ るべきかについて考える。とくに、グローバル化のなかで各国の財 政がどのような影響を受け、それにどのように対応してゆくべきか について考える。</p> <p>【教育目標】 ・知的関心をもって学修していく態度や心構えの養成 ・市民や社会人として必要とされる倫理観や人間性の養成 ・自分自身や社会が直面するさまざまな問題を理解し解決する能力 の養成 ・物事を論理的に分析する能力の養成 ・経営学・経済学・会計学を中心に社会科学の基礎的な知識と考え 方を身につける。 ・専門的な知識に裏づけられた論理的な思考力によって、社会や組 織が直面する諸課題に取り組む能力を身につける。</p>			

・社会に関して常に関心を持ち、生涯にわたって新しい知識や見識を
吸収していく能力を身につける。

講義スケジュール	
第01回	イントロダクション：財政とはなにか
第02回	予算と財政民主主義
第03回	税と信頼
第04回	社会保険と生活保障
第05回	財政赤字の理論と実際
第06回	地方自治と地方財政
第07回	経済成長と所得再分配
第08回	格差・貧困の拡大と所得補償
第09回	世代間対立と社会保障
第10回	地域の変容と地方財政
第11回	社会統合と財政
第12回	時事問題1：2021年度の当初予算編成
第13回	時事問題2：コロナ禍と経費膨張
第14回	まとめと期末試験（グローバル化の進展と財政変容）
教科書	『財政の扉をひらく』高端正幸・佐藤滋 有斐閣 2020
参考書	